

放射科学教育研究推進センター



Check
詳しくは
センターHPへ！



放射科学教育研究推進センターの前身である「放射化学研究施設」は、「ビキニ海域における水爆実験による第五福竜丸の被災事件」を契機として、昭和33年4月文理学部附属施設として設立されました。理学部のみならず全学における放射能利用研究活動の中心としての役割を果たしてきましたが、東日本大震災を経験した今、社会が求めている研究課題への対応や更なる教育の充実化を図るため、平成29年2月に放射科学教育研究推進センターに改組しました。

時代のニーズに対応した教育研究を推進するために「エネルギー安全放射科学研究部門」と「同位体環境動態研究部門」の二つの研究部門と放射線安全管理部を設置し、全学の放射線安全管理を行っています。

放射線教育においては、放射線取扱主任者免状取得に必要な国家試験合格を目指し、下表のような充実した講義を開講し、これまでに100名以上の学生が合格しています。また、大学院では「放射科学教育プログラム」を設置しています。平成28年度からは原子力規制人材育成事業にも採択されています。

カリキュラム

STEP 01

学部での放射科学教育

STEP 02

第二種放射線
取扱主任者試験合格

STEP 03

大学院での
放射科学教育
プログラム

STEP 04

第一種放射線
取扱主任者
試験合格

STEP 05

放射科学
スペシャリスト

理学部における主な放射科学教育科目

授業科目	単位数
放射線物理学概論	2
放射化学概論	2
放射線生物学概論	2
放射線計測・管理学概論	2
放射線管理実習	1

理学専攻における主な放射科学教育科目

授業科目	単位数
放射線測定・解析特論	1
放射能利用分析特論	1
先進エネルギー・化学特論	2
先進放射化学特論	2
放射線管理学特別実習	1
放射科学特別講義	1

研究室紹介

■ … エネルギー安全放射科学研究部門 ■ … 同位体環境動態研究部門

大矢 恭久 准教授

KEYWORD ベータ放射体の化学、
核エネルギーシステムの化学

トリチウム(三重水素)等ベータ放射体と材料との化学的相互作用の速度論的メカニズムの解明と核エネルギーシステムへの応用可能性について研究を進めています。

近田 拓末 講師

KEYWORD 核融合炉材料、水素同位体、
放射化学

水素エネルギーシステムや核融合炉で用いられる材料について、水素同位体や放射線との相互作用を中心とした物理化学挙動に関する研究に取り組んでいます。

矢永 誠人 准教授

KEYWORD 生体微量元素の機能、放射化分析、
PIXE分析

土壌の除染を念頭におき、原子核をプローブとした放射化学的手法を利用して生体内における微量元素の機能や金属元素間の相互作用に関する研究を行っています。